

〈本郷キャンパス〉
 学校法人文京学園
 文京学院大学外国語学部・経営学部・
 人間学部・保健医療技術学部／大学院
 ／文京学院大学生涯学習センター
 〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1
 ☎大 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816
 文京学院大学文京幼稚園
 〒113-0023 東京都文京区向丘 2-4-1
 ☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉
 文京学院大学人間学部・保健医療技術学部
 ／大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園
 〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196
 ☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806

〈駒込キャンパス〉
 文京学院大学女子高等学校／文京学院
 大学女子中学校
 〒113-8667 東京都文京区本駒込 6-18-3
 ☎03-3946-5301



令和3年(2021年)
 8月31日
 第769号
 発行
 学校法人文京学園
<http://bgu.ac.jp>



左／鱒淵さん 右／鱒淵さんのお姉様

「東京2020オリンピック・パラリンピック」開催に向けて、聖火が3月25日に福島県をスタート。開催地である東京には、7月9日に到着し、14日に府中市の東京競馬場で行われた「トーチキス」セレモニーに、本学の鱒淵羽飛さん(人間学部1年)が聖火ランナーとして参加しました。

大学 東京2020聖火ランナーとして



2021年7月14日に、東京都の聖火ランナーとして「トーチキス」のセレモニーに参加してきました。聖火ランナーに応募したのはもう2年前、高校2年生の時でした。当時私は地域の方や周りの方に支えていただいていると感じていたので、何か恩返しをしたいという思いがありました。また、スポーツで救われたという思いが強くあり、スポーツの祭典であるオリンピックに関わりたいと思い聖火ランナーに応募することを決めました。

私は生まれつき脳性麻痺という障害をもっています。車いすに乗っていて、1度も歩いたことがありません。そのため「なんで歩けないんだろう」「やりたい事も上手くできない」と、出来ない事ばかりを考え、ネガティブな気持ちになっていたのですが、学校の体育で「ボッチャ」という障がい者スポーツに出会い、勝った時の喜びや負けるときの悔しさ、チームで戦う楽しさなどを初めて知り

ました。それ以降、私は「ボッチャ」に夢中になり、地域の方々と一緒に楽しむようになりました。沢山の方々と触れ合う中で「できない事を悲しむより、出来る事を楽しめばいい」と教えていただき、将来に希望が持てるようになりました。聖火ランナーとして走ることで、同じようにマイナスマインドの誰かに、勇気や希望を届けられるのではないかと、そんな思いを書いて応募しました。その思いが伝わって1年前に聖火ランナーに選んでいただきました。

オリンピックが延期となり、一年越しの聖火ランナーでした。残念ながら公道を走る事は出来ませんでした。トーチキスセレモニーという形で開催していただきました。トーチを持った時は少し緊張しましたが、一年越しの思いを乗せて希望の火を繋ぐ事ができました。

(人間学部 人間福祉学科 1年 鱒淵羽飛)

大学

産学包括連携協定を締結



学生デザイン「手すりラッピング」を持つ集合写真

7月8日、経営学部新田都志子ゼミナールが推進しているプロジェクト「エスカタレーター安全利用啓発活動」において、ラッピング広告・車両やエスカタレーターのマーケティングで35年の実績を持つ株式会社アサイマーキングシステム(代表・浅井大輔)と、産学包括連携に関する協定を締結しました。

新田ゼミは「社会の課題をマーケティングの力で解決する」というテーマのもと、2017年より「エスカタレーター安全利用啓発活動」を実施しており、学生たちが、直接プロジェクトへの協力依頼をした時から協力関係を築いてきました。

2017・2018年に実施した実証実験では、学生が考案したデザインをエスカタレーターの手すりやステップ・ライザーのラッピングを提供いただきました。(株)アサイマーキングシステムは、エスカタレーターの安全表示のラッピング販売は長年行っていました。その有効性に関する調査実績がなく、協力関係のもと、調査・検証を本学学生が行い、販売促進データとして結果を共有するなど、双方にとって有益な関係をこれまで築いてきました。

今後、産学連携を図ることにより研究成果などを社会へ還元するとともに、産学間の情報交換を通じて産業・社会の発展に貢献し、地域社会の発展と人材育成を図っていきます。

GREEN SPIRITS



一人ひとりを大切に保育を継承するために

ふじみ野幼稚園 園長 人間学部 教授 柄田 毅

文京学院大学ふじみ野幼稚園は、埼玉県西部のふじみ野の地に開園して以来、大学併設の幼稚園として地域に認められてきました。特に、幼稚園教諭などの養成を含む人間の社会、福祉、心理、保健医療に関わる教育研究機関と同じキャンパスにあることは、地域の幼児教育の基盤として期待されてきたと考えます。

本園は、子どもたちの主体的な取り組みを通じて、子どもが知識や経験からできることを広げる基盤を育むこと、考えや表現などの元になる力を育てること、そして、様々なことにチャレンジしようとすることや仲間とつながる姿勢を身につけるように保育を継続してきました。私たちは、このような保育を「あそびを通した学び」として、

子どもたちが自ら行動して、共に育ち合うことを、長い間の実践から創り上げてきました。

卒園する頃には、子どもたちは、自分の意見やアイデアなどを相手に伝えるように自分自身で表現できるようになります。また、クラスメイトや異なる学年の子どもの同士のインタラクティブな活動によって、定型的な活動や製作などをよりクリエイティブに展開して、オリジナリティに富み、ユニーク(その子どもらしさ)なものとなるようにしていきます。さらに、こうした園生活を通じて、子どもたちは自分の意見や存在を確かにしていき、年齢、性別、得意・不得意の違いなどをお互いに認め合うようになります。

これらから、ふじみ野幼稚園が子どもたち一人ひとりの存在や育ちを大切にしていることは、地域で生きる力を育み、国際的な視野をもつ人となる基盤を育成していると考えます。

こうした本園の特徴を反映した保育の継続的な実践は、現在、文部科学省が提案するアクティブラーニングによる教育や、子どもへの基本姿勢である子どもを尊重する社会のあり方に関わる考え方と同様です。つまり、ふじみ野幼稚園が子どもを中心とした理念と実践を継続してきた成果であり、本園が地域の皆様に受け入れられてきた結果でもあります。

このような本園の特質を活かし、地域の幼児教育に貢献するため、一人ひとりを大切にする保育を一層深めるチャレンジも継続する幼稚園であるように、園長として考えています。

ORIGINAL PROGRAM "TEPPEN FORUM" てっぺんフォーラム

大学 後輩に伝える体験談

ふじみ野キャンパスでは6月26日、本郷キャンパスでは6月30日、オンラインによる「てっぺんフォーラム」を開催しました。上級生が下級生に向けて、様々な体験や想いを伝えることで、毎年多くの学生が「スイッチ・オン」し、それぞれの「てっぺん」に向けて邁進。今年も同実行委員会メンバーと発表者が協力し合い、充実したフォーラムを実現しました。

ふじみ野キャンパス



スイッチ・オン賞



人間学部心理学科2年 福田安優子
福田さんは、オンライン授業による「通学時間の短縮時間」を、スキルアップのために次のように有効活用...



人間学部児童発達学科2年 松岡達也/伊東花菜
コロナ禍で理想のキャンパスライフを送れず悩んでいた2人は、人間関係を構築する中で大切なのは「一人でも経費をきたる方々を...」



保健医療技術学部臨床検査学科4年 鈴木 諒/伊藤由将
1年次に基礎科目を主に学んだ2人は「GPAを上げたという意識を持ち、専門科目の講義・実習が増えた2年次は、学習・復習により基礎事項を定着...」

てっぺん賞



人間学部コミュニケーション社会学科4年 若林郁弥
若林さんは、1年次に「学生本部」に所属。「30kmウォーキング」のリーダーとして意見の対立を経験し、中立な立場で折衷案を考えて解決...



人間学部心理学科4年 花城美彩
内藤さんは、ふじみ野キャンパスを拠点とする「ソングリーディングダンスチームLEOPARDS」に本郷キャンパスから4年間通って活動...



人間学部心理学科4年 須釜莉子
須釜さんは、関東最大の学生による学術発表大会「インナー大会」にリーダーとして参加...

本郷キャンパス



スイッチ・オン賞



外国語学部3年 山方 凜
オンライン講座「キャリアサブゼミ」に参加した山方さんは、次のプロセスを経て大きく成長...



外国語学部4年 打木 友賀
打木さんは、1年次に中国に留学して好奇心が全開...



外国語学部4年 加藤 宏樹
加藤さんは、1年次にオーストラリアへ短期留学し、「圧倒的な勉強量の差」に常に挑戦している同輩の姿に驚き...

てっぺん賞



外国語学部4年 須釜 莉子
須釜さんは、関東最大の学生による学術発表大会「インナー大会」にリーダーとして参加...



経営学部4年ROBS38 矢内大晴(リーダー) 佐藤 萌香、白井 文偉、福田 千夏、長谷川 璃音
「誰もがエスカレーターに立ち止まる社会を実現する」をテーマに、5名は2017年から活動...



ふじみ野市の老舗茶屋・松澤園でのイベントがコロナ禍で中止になり、メンバーはオンライン会議でやり取りを継続...

クラブ活動実績紹介

コロナ禍で十分な活動ができない中、各部活動では万全な感染対策を図りながら各大会に臨み、大きな成果を上げています。

高校 カラーガード部 「関東大会」で優勝「全国大会」で日本一に！



全国を制覇したメンバー7名

「全国中学校高等学校ダンスドリル選手権大会2021」関東大会が6月25日、エスフォルタアリーナ八王子で行われ、本校は「TALL FLAG部門」で第1位を獲得...

中学 バレーボール部 「東京都大会」準優勝 「関東大会」ベスト8 「全国大会」出場



全国大会への出場を果たしたメンバー 感染対策のため、リモートで応援！

「東京都中学校バレーボール選手権大会」(7月18日/十文字中学校)で準優勝を勝ち取った本校は、「関東中学校バレーボール大会」(8月9・10日/東久留米市スポーツセンター)に10大会連続30回目の出場を果たし、ベスト8入り...

Table with match results: 予選グループ戦 (8月19日) 本校 1-2 就実中学校 (岡山), 敗者復活戦 (8月19日) 本校 2-0 田尻中学校 (宮城), 決勝トーナメント1回戦 (8月20日) 本校 1-2 城南学園中学校 (大阪)

本校は決勝トーナメント1回戦で敗退しましたが、全国の強豪と戦ったことは貴重な経験となりました。

高校 サッカー部 3つの大会戦績

Table with tournament results: インターハイ東京都予選 (4月) 1回戦 本校 0-1 日体桜華高校, 皇后杯東京都予選 (6月~7月) 準々決勝 本校 0-1 日体桜華高校, 高校女子選手権東京都予選 (8月) 2回戦 本校 1-2 杉並総合高校

1年生から3年生、26名で挑んだ2021年でしたが、関東・全国への挑戦は終わりました。負けた時こそ学ぶことが多く、この悔しい結果が、今後の大きなステップアップのエネルギー源となることを期待しています。

高校 サッカー部 「東京U-18女子サッカーリーグ」

今年度からスタートした、東京都U-18女子サッカーリーグ。高校チームとクラブチームが共存したリーグで、2024年からスタートする全国リーグへつながる第一歩となります。

Table with match results: 第1試合 (7月10日) 本校 2-1 晴海総合高校, 第2試合 (7月18日) 本校 0-2 INAC東京・多摩川, 第3試合 (7月23日) 本校 5-0 成立学園高校

新型コロナウイルス感染症の影響で9月末までは試合が組めませんが、生徒たちは10月以降、残りの試合を一戦一戦大切に戦い、勝ち点を積み重ねていきたいと考え、練習に励んでいます。

大学 豪雨災害支援

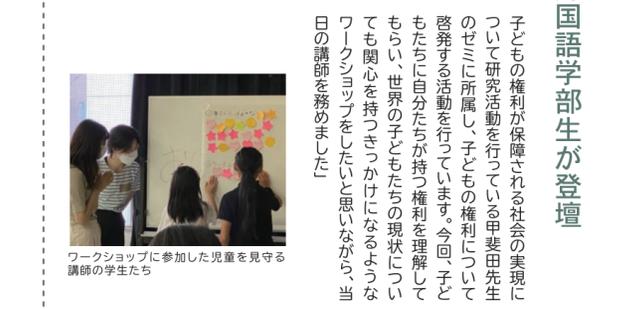
7月3日の豪雨による甚大な被害が発生した静岡県熱海市の一日でも早い復興を願い、また、被災された方々を支援することを目的に、7月20日から22日の3日間、ふじみ野キャンパスにて、非対面型募金活動を実施しました。同活動は、地域の組織と連携して教育プログラムを展開している「地域連携センターBICS」で活動する学生が中心となって実施しました。募金箱が学生が手作りで制作し、5か所に設置しました。キャンパス内デジタルサイネージを利用した募金に関する動画配信、昼休みの募金呼びかけ一斉放送、キャンパス内やスクールバス車内のポスター掲示等の活動により、3日間で総額は76,011円となりました。



義援金を渡す野澤さん(右)

大学 子ども向け ワークショップに外国語学部生が登場

7月30日、川崎市教育委員会主催の子ども向けワークショップ「自由と権利について考えてみよう」が神奈川県川崎市教育文化館にて開催され、外国語学部生6名が主催のゼミナールに所属する学生6名が「世界の子どもについて知ろう」のワークショップに講師として参加しました。学生たちは、1・海外の国・2・世界が100人の村だったら3・もし文字が読めなかったら4・ピントアーム5・カンボジアと子どもたちの権利という流れでワークショップを行いました。小学3年生から6年生の子どもたちは、お母さんが病気になったときに薬のボトルに書いてある文字が読めない大変なことになったり、等々、アクティブラーニングを通じて学びました。講師を担当した学生から次のコメントが寄せられました。「私たちは、カンボジアと日本を中心に」



ワークショップに参加した児童を見守る講師の学生たち

中学 サッカー部 「U-15選手権東京都予選」6年ぶり関東出場へ挑戦中

「JFA第26回全日本U-15女子サッカー選手権大会東京都予選」において、ベスト8に進出。選手たちは猛暑の中、樺SC(7月18日)、ラガツァFC(7月22日)と戦い、勝ち進むことができました。次戦は9月上旬の予定で、5位までに入ると、6年ぶりの関東大会出場(千葉県開催)となります。



U-15都予選でプレイする選手たち

高校 ソフトテニス部 「関東大会」出場

「令和3年度 東京都高等学校女子ソフトテニス関東大会個人予選」(4月25日/実践女子学園高等学校テニスコート)を勝ち抜いた本校1番手ペア、3年杉組の大内瞳奈さんと福田このはさんが、6月5日「関東大会」(栃木県総合運動公園テニスコート)に出場しました。初戦(シード権により、これが2回戦)から団体準優勝のレギュラーペアと対戦し、厳しいボールが行き来する試合展開の結果、惜しくも2回戦敗退となりましたが、東京都から関東大会という広域大会に出場できたことは、選手にとって貴重な経験となりました。



左から大内さん、福田さん

高校 バレーボール部 「インターハイ東京都最終予選」3位

「全国高等学校総合体育大会(インターハイ)」の出場権をかけた「東京都最終予選」が6月27日、大田区総合体育館で開催され、本校は3位となり、惜しくもインターハイの出場権を逃しました。現在、10月24日(日)に駒場高校で開催される「第74回全日本高等学校選手権大会東京都一次予選」に向けて一同、全員バレーで練習に励んでいます。



全員バレーで練習に励むメンバー

中高

2つの探究活動に生徒が参加

中学・高校の生徒たちが、グローバルな活動に積極的に参加し、探究活動で学びを深めています。

7月26日から29日まで、大学の本郷キャンパスにて開催された「Atlantic Pacific Japan Summer Project」...

8月5日と6日の2日間、駒込キャンパスにて「子どもアカデミア講座」...

子どもアカデミア講座に岩川暢澄教諭が登壇

参加し、海草と乾燥剤の成分を使って「カラフルなイクラ」や「光るイクラ」...



生徒が講師を担当したプラスチック・リユース・ワークショップ



グローバルビレッジに参加した生徒たち

8月10日から12日まで、駒込キャンパスではGlobal Village (プログラム提供:株式会社JBE Japan)...



岩川教諭による実験講座

「本講座はただ実験を行うだけの授業にはせず、なぜそうなるのかを小学校低学年の児童たちにも理解しやすいように工夫したい」と

大学

「BGU Event Talk」開催

6月23日、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大学のイベントをなかなか体験できていない後輩学生に向けて...



笑顔で参加する学生たち

イベントを運営 SLF委員会学生からのコメント

人間学部2年 宮本結衣

これから予定している1年間のイベントを紹介して、少しでも楽しみにしていただけると、この企画を考えました。

人間学部2年 山本芽里

慣れない環境での司会は大変緊張しましたが、参加して下さった方の協力でスムーズに進行することができました。

文京学院校友会



大石第4期校友会会長

文京学院校友会第3期・4期の6年間、会長としての任務を終えてこの度次期会長にバトンを繋げる事が出来ました。

退任のご挨拶

母校と校友の絆を「明日」へ 文京学院校友会第4期会長 大石理栄子

実させました。また、各自の意識改革に目覚め、変革と向上に力を注ぎました。

お知らせ

今号から学園紙のデザインがリニューアルされます。創立100周年に向けて、学園紙は新たな感性のもと、さらに発展し、各キャンパスの様々な話題をお届けしていきます。

tomoちゃん

第74回 画:美術部(高校)もやし

